

毎日、放課後の子どもの居場所づくりの充実に御尽力いただきありがとうございます。

今号は、11月に開催しました「テーマ別研修会」の内容をお伝えするとともに、小栗栖宮山小学校と境谷小学校の放課後まなび教室について御紹介します。

放課後まなび教室テーマ別研修会を開催しました！

3テーマ
参加者 270 名

① 《分科会A》「子どもとの関わりを考える」～子どもの心に寄り添って～（11月6日実施） 京都市スクールカウンセラー 渡辺 康江 氏

日々関わりあっている子どもの心を想像する一助となるよう、心のプロセスに目を向けてのお話を伺いました。また、簡単なロールプレイや体を使ったワークも行い、子どもとの関わりを考え合う機会となりました。

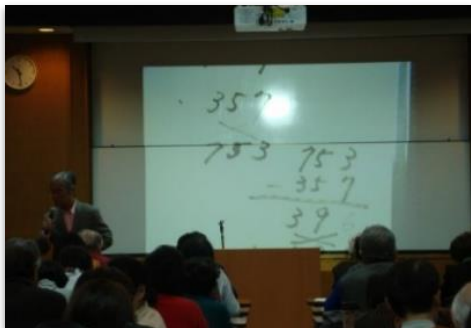


参加者の声

- ・子どもたちとの関わりにおいて、子どもの発言や気持ちを肯定することが大事だと感じました。
- ・体を使ったワークがあり、先生のお話で学んだことを自分の体を通して理解することができたのが新鮮でした。



② 《分科会B》これですっきり、もっと算数を！（11月15日実施） 京都市教育委員会特別訪問指導員 元京都市算数教育研究会会長 高居 守 氏



放課後まなび教室で算数に取り組む子どもたちと接する中で、よく見られる質問について皆さんと一緒に考えました。子どもたちが困った時の、助言や手助けの方法を教えてくださいました。

- ・答えだけを伝えるのではなく、子どもの個性や考えに合わせ、答えを求める方法を伝えていくことが大切だと思いました。
- ・子どもへの接し方を学び、自分の活動につなげていきたいと思います。



参加者の声

③ 《分科会C》子どもたちが喜ぶ手作り体験（身近な材料を使って）（11月18日実施） 子ども若者はぐくみ局育成推進課 放課後連携教育主事 宮地 功



色紙、画用紙で作る「六角セブンパズル」と、ペットボトルで作る「ビュンビュンクリップ」。“安井小学校放課後まなび教室”が今夏実践された手作り実践2例を手作り体験していただきました。

各校で取り組まれた作品
を展示紹介しました！



参加者の声

- ・童心に帰り、一生懸命作っていたらあっという間に時間が過ぎ、充実した一日でした。
- ・どちらの工作も手軽にできるので、学校に持ち帰り、放課後まなび教室で是非やってみたいです。



小栗栖宮山小学校（伏見区） 活動紹介

- 実施曜日：月・水・木曜日
- 実施時間：14：30～15：30（低学年），15：30～17：30（高学年）
- 実施場所：図書室，まなび学習室
- 活動内容：主に宿題や読書。その他，塗り絵や昔遊び等。
- 1日平均スタッフ数：学習アドバイザー1名，学習サポーター2～3名
- 登録児童数：約100名

小栗栖宮山小学校の放課後まなび教室では，学習のサポートだけでなく，勉強をする姿勢や挨拶の習慣化等，生活に関わる支援も行っています。

また，子どもたち一人一人の気持ちを受け止め，向き合うことで，子どもたちが安心して自分の気持ちや思いを伝えることができる居場所となっており，できたことを積極的に褒めることで自主性と自尊心を育む事を大切にしながら実施しています。子どもたちも元気いっぱい笑顔の絶えない放課後まなび教室です。



境谷小学校（西京区） 活動紹介

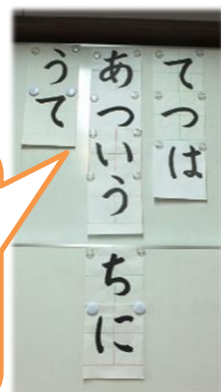
- 実施曜日：火曜日以外の平日
- 実施時間：14：30～15：30（低学年），15：30～16：30（高学年）
- 実施場所：ランチルーム
- 活動内容：主に宿題や読書。その他，工作や書写，昔遊び等。
- 1日平均スタッフ数：学習アドバイザー1名，学習サポーター3～4名
- 登録児童数：約40名

境谷小学校の放課後まなび教室では，自主学習の定着に加え，書写や工作等を通じて，子どもたちの好奇心や自由で豊かな発想を育みながら，子どもたちの成長を見守っています。

また，学校だけでなく，学校敷地内にある児童館とも積極的に連携を図っており，放課後まなび教室のスタッフ会議においては，学校はもとより，児童館の職員や館長も参加し，相互に情報共有を行うことで，まなび教室・児童館・学校が三位一体となって，子どもたちのより安心・安全な放課後の居場所づくりに努めています。



メリハリをつけて勉強をしよう！
という意気込みを感じられます！



発行 京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課 放課後まなび教室担当
〒604-8171 中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 2階
☎ 075-748-0016 FAX 075-254-5020



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市印刷物 第 315055 号

